



2017年度 情報処理学会関西支部 支部大会 プログラム

日時：2017年9月25日(月) 10:00～17:00

場所：大阪大学中之島センター 2F、3F、4F

特別講演

行動変容と社会システム / 14:45～15:45 <3F講義室304>

「臨床心理学に基づく行動変容アプローチ」

【講演概要】

工学分野の皆様にとって臨床心理学は殆ど馴染みがない学問領域と思われるが、臨床心理学においても、悩みを抱えた方々の心身がより健康的な方向に改善されるよう、行動変容を促すアプローチが開発されている。臨床心理学における行動変容アプローチは、その前提となる理論や方法が工学系のそれとは大きく異なっているものと推察されるが、臨床心理学の概要を知っていただくことにより、行動変容に向けた新たな視座を得ていただける可能性があると考えます。そこで今回は、あえて臨床心理学全般や演者の専門領域の説明を丁寧に行いながら、臨床心理学に基づく行動変容アプローチの具体例を提示したい。また、「行動」を共通項とした「文理融合」の可能性についてもディスカッションが行えれば幸いです。

松浦 隆信 マツウラ タカノ

(鹿児島大学 大学院臨床心理学研究科 准教授)

2003年より心療内科クリニックにおける外来患者への心理カウンセリング業務を中心に、不登校・ひきこもり当事者および家族への電話相談、ハローワークにおける就労支援相談などに従事する。2009年4月、在職しながら日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程に入学、2012年3月に同大学院を修了し、心理学の博士号を取得する。東京成徳大学応用心理学部、大妻女子大学人間関係学部非常勤講師、立正大学心理学部特任講師を経て現職。現在は、臨床心理士を養成する大学院の教員として院生教育および研究に取り組む他、大学附属心理相談室でのカウンセリング業務や鹿児島県内某事業所の従業員に対するメンタルヘルズ相談に従事する。



チュートリアル

英語チュートリアル / 16:00～17:00 <3F講義室304>

Writing and Presenting in the International Sphere: You need more than just 'translation'

【講演概要】

This brief tutorial will cover useful guidelines for writing documents for publication and giving presentations at professional-level gatherings such as academic conferences. In the scientific community, English is used for a large portion of international journals and, even more so, international conferences; naturally, this raises a major challenge for authors and presenters who are not native-English speakers. A key concept of this tutorial is that simply translating documents or speeches into English is not sufficient for success: Certain attitudes and techniques should be adopted to convey your message and maximize impact. The right attitude involves putting the interests of the readers or audience members, that is, the 'customers,' first. Effective techniques for writing include making reading easy, simplifying text even when it explains complex ideas, and effectively organizing documents; effective techniques for presentation include establishing a 'dialog' with the audience, simplifying PowerPoint slides, and clarifying questions from the audience you don't understand. After the presentation, as time permits, the speaker will answer questions from participants.

Ron Read

(Human Global Communications Co., Ltd. Vice president, and Kansai branch manager)

Ron Read is a vice president, board member and Kansai Branch Manager of Human Global Communications Co., Ltd. (formerly Kurdyla and Associates Co., Ltd.), a communications services firm established in Japan in 1969. He holds a bachelor's degree in Journalism from the University of Oregon and an English Instructor certificate from the French Government. Before coming to Japan in 1986, he worked as a radio news producer, a radio news reporter, and a newspaper editor. His current duties include training and supervising technical rewriters, presentation trainers, and seminar instructors. His work also involves rewriting of technical papers, corporate communications, and academic books, as well as giving personal and group presentation training to researchers, engineers and executives. Previously, he organized a conference secretariat in Japan (International Business Communicators). He serves as secretary of the Kinki Macintosh Users Group and is a long-time member of the Osaka Chamber of Commerce and Industry. He has evaluated the writing quality of letters and papers submitted to IEICE, Group D, and writes a column (Author's Toolkit) in their quarterly journal.



※◎は学生優秀発表賞・支部大会奨励賞対象発表、∞はジュニア会員特別賞対象発表、†は推薦論文対象発表、○は登壇者、★はキャリアエクスプローラー

A : グリーンコンピューティング・組み込みシステム 会場 : 3F 講義室302

講演番号	発表題目	著者
13:00~14:00 ◆ グリーンコンピューティング・組み込みシステム <座長 : 平田 博章 (京都工芸繊維大学) >		
A-01 ◎ +	ROSに基づく自動運転用ソフトウェアと MATLAB/Simulink の統合開発フレームワーク	◎★徳永 翔太 (大阪大学)、堀田 勇樹 (日立製作所)、小田 裕弘 (日立オートモティブシステムズ)、安積 卓也 (大阪大学)
A-02 ◎ +	NoCベース組み込みメモリアーキテクチャでのスケーラブルなデータ配置と並列化	◎丸山 雄也 (大阪大学)、加藤 真平 (東京大学)、安積 卓也 (大阪大学)
A-03 ◎ +	組み込みシステムに適した動的メモリアロケータのコンポーネント化	◎山本 拓朗 (大阪大学)、大山 博司 (オークマ株式会社)、安積 卓也 (大阪大学)
A-04 ◎ +	教育用16bitプロセッサ KUECHIP-3F の開発	◎東 香実、大迫 裕樹 (関西学院大学)、柴田 敦也 (奈良先端科学技術大学院大学)、神原 弘之 (京都高度技術研究所)、國枝 義敏 (立命館大学)

B : 社会知能 会場 : 2F 講義室201

講演番号	発表題目	著者
10:00~11:30 ◆ 社会知能 <座長 : 住岡 英信 (国際電気通信基礎技術研究所) >		
B-01	マルチエージェントモデルを用いたセルフレジ導入によるレジサービスへの影響と解析	◎平田 直也、中桐 斉之 (兵庫県立大学)
B-02 ◎	Webコンテンツ検索時の思考プロセスの形式化に向けた解析手法の検討	◎★永野 一馬 (奈良先端科学技術大学院大学)、荒川 豊 (奈良先端科学技術大学院大学/JSTさきがけ)、安本 慶一 (奈良先端科学技術大学院大学)
B-04 ◎	複数人での食事メニュー決定支援のための食事嗜好可視化システムの提案	◎下室 孝平 (和歌山大学)、宮部 真衣 (諏訪東京理科大学)、吉野 孝 (和歌山大学)
B-05 ◎	流言情報への気づきを与えるためのインタフェースの検討	◎柿本 大輔 (和歌山大学)、宮部 真衣 (諏訪東京理科大学)、荒牧 英治 (奈良先端科学技術大学院大学)、吉野 孝 (和歌山大学)
B-06	瞰視RGB-D カメラによる床のモデリングと身長推定	◎奥 剛一、呉 海元 (和歌山大学)

~各種マークの説明~

◎学生優秀発表賞・支部大会奨励賞について

講演番号に◎マークが付いている発表は、学生優秀発表賞・支部大会奨励賞対象発表です。

情報処理学会の学生会員 (入会申請中も含む) を対象に、特に優れていると認められる研究発表に対して、「学生優秀発表賞」と副賞を授与します。(ただし、過去に「学生優秀発表賞」(2015年度までの「学生奨励賞」を含む)を受賞したことがある方は、受賞対象外とします。)

また、学術奨励のため有為と認められる学生会員の研究発表に対して、「支部大会奨励賞」を授与します。

∞ジュニア会員特別賞について

講演番号に∞マークが付いている発表は、「ジュニア会員特別賞」対象発表です。

情報処理学会のジュニア会員 (小中高校生、高等専門学校専攻科1年生以下、大学学部3年生以下、短期大学生、専門学校生) による優れた研究発表・活動に対して、賞を授与します。

†推薦論文について

講演番号に†マークが付いている発表は、推薦論文対象発表です。

支部大会における発表論文の中 (ただし、著者の少なくとも1名が本学会員であり、論文原稿6ページ以上のもの) で、特に優れた論文は、情報処理学会論文誌ジャーナルに推薦させていただきます。

★キャリアエクスプローラーマークの運用について

著者の氏名の先頭に付いている★マークはキャリアエクスプローラーマークです。

情報処理学会関西支部では、本大会が就職を控えた学生やポスドクを始めとする求職側と、企業・大学・研究所などの求人側との出会いの場となるよう、キャリアエクスプローラーマーク (以下CEマーク) を導入しています。発表者である求職中のポスドクまたは学生が、本人の希望により、CEマークを大会プログラムや発表スライド、ポスターに書き記しています。

このマークを付ける事で、求職中の発表者は気軽にキャリアエクスプローラーであることを表明でき、求人側は効率的に声をかけて頂く事が出来ます。

CEマークについて、詳しくは右記URLをご覧ください。 http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_ce/

C : ネットワークサービス1、3 会場 : 4F 講義室405

講演番号	発表題目	著者
10:00~11:30 ◆ ネットワークサービス1 <座長 : 福島 拓 (大阪工業大学) >		
C-03 ◎	効果的なパーソナルワークアウトに向けたウェアラブルデバイスによる種別認識の検討	○高田将志、荒川 豊、安本 慶一 (奈良先端科学技術大学院大学)
C-01 ◎ +	カメラでの方角計測による位置推定の精度向上	○川濱 悠、勝間 亮 (大阪府立大学)
C-02 ◎ +	単位RSSI値の強弱の推定による位置推定精度の向上	○中井 若菜、川濱 悠、勝間 亮 (大阪府立大学)
C-04 ◎	顔投影型会話支援システムにおける描画機能の開発	○明松 悠太、吉野 孝 (和歌山大学)
C-05 ◎	ステーション変更機能を持つ映像投影型ボードゲーム“アベノミックス”の開発	○★安部 貴太、伊藤 淳子、宗森 純 (和歌山大学)
C-06 ◎	相対的な位置情報を利用した協力型クイズゲームシステム“WestEastGO”の開発	○★西村 勇哉、伊藤 淳子、宗森 純 (和歌山大学)
昼 休 憩 (11:30~13:00)		
13:00~14:30 ◆ ネットワークサービス3 <座長 : 伊原 彰紀 (奈良先端科学技術大学院大学) >		
C-13	BYODに対応した出席管理システムの構築	○中西 久美 (和歌山大学)、川橋 裕 (和歌山大学システム情報学センター)
C-14 ◎	多様なジャンルに投稿可能な感想共有システムの開発	○品田 雅人、伊藤 淳子、宗森 純 (和歌山大学)
C-15 ◎	研究活動支援システムWadaman-WebIIIの開発と適用	○武田 秀行、伊藤 淳子、宗森 純 (和歌山大学)
C-16 ◎	避難時間を可視化する防災マップ作成Webシステムの開発	○谷岡 遼太、吉野 孝、江種 伸之 (和歌山大学)
C-17 †	ユーザ利便性向上を目指したIoTのためのSDNセキュリティポリシー設定機構	○吉村 悠、佐藤 健哉 (同志社大学)
C-18 ◎ +	論理デバイスプロキシを利用したIoTセキュリティプラットフォームの提案	○今野 裕太、佐藤 健哉 (同志社大学)

C : ネットワークサービス2、4 会場 : 4F 講義室406

講演番号	発表題目	著者
10:00~11:15 ◆ ネットワークサービス2 <座長 : 佐藤 健哉 (同志社大学) >		
C-07	MARSの冗長構成及び実現手法の提案	○新谷 裕太 (和歌山大学)、川橋 裕 (和歌山大学システム情報学センター)
C-08	高頻度なリンクアップとリンクダウンをおこなう端末を擁するネットワーク監視に基づくMARSの拡張	○石田 慎秀 (和歌山大学)、川橋 裕 (和歌山大学システム情報学センター)
C-09 ◎ +	CATBSにおける貪欲なスケジューリングアルゴリズム	○斉藤 明日香、吉廣 卓哉 (和歌山大学)
C-10 ◎ +	無線メッシュ網CATBSにおける高速通信に対応したスケジューリング法	○森 康弘、吉廣 卓哉 (和歌山大学)
C-11 ◎ +	Wi-Fi Directを用いた低消費電力な無線センサ網の通信プロトコル	○田代 志保、吉廣 卓哉 (和歌山大学)
昼 休 憩 (11:15~13:00)		
13:00~13:45 ◆ ネットワークサービス4 <座長 : 大谷 雅之 (近畿大学) >		
C-19 †	ネットワークトラフィックからのStacked Auto-Encoders による低次元特徴抽出と異常検出	○日置 裕士、谷澤 俊樹、青木 茂樹、宮本 貴朗 (大阪府立大学)
C-20 †	全学無線LAN利用状況の可視化	○八切 有市、青木 茂樹、宮本 貴朗 (大阪府立大学)
C-21	トラフィックフローに基づいたネットワーク運用管理システムTRAFLLの機能拡張	○陰地 健太 (和歌山大学)、川橋 裕 (和歌山大学システム情報学センター)

D：行動変容と社会システム1、2 & 特別講演 会場：3F 講義室304

講演番号	発表題目	著者
10:00～11:30 ◆ 行動変容と社会システム1 <座長：丸野 由希（京都女子大学）>		
D-01 ◎	行動変容を誘発するためのインターアクティブサイネージの検討	◎★張 志華、高橋 雄太、藤本 まなと（奈良先端科学技術大学院大学）、荒川 豊（奈良先端科学技術大学院大学/JSTさきがけ）、安本 慶一（奈良先端科学技術大学院大学）
D-02 ◎	内的活性度の振り返りを支援するための生体情報を含むキャンパスライフログシステム的设计	◎★渡邊 洸、高城 賢大、高橋 雄太、音田 恭宏、藤本 まなと（奈良先端科学技術大学院大学）、荒川 豊（奈良先端科学技術大学院大学/JSTさきがけ）、安本 慶一（奈良先端科学技術大学院大学）
D-03 ◎	アイウェアによる集中カセンシングに基づいた行動変容システム的设计	◎徳田 博行、高橋 雄太、音田 恭宏、金谷 勇輝（奈良先端科学技術大学院大学）、荒川 豊（奈良先端科学技術大学院大学/JSTさきがけ）、安本 慶一（奈良先端科学技術大学院大学）
D-04 ◎	観光動画キュレーションの実現に向けたハイライト抽出手法の検討	◎★金谷 勇輝、中村 優吾、諏訪 博彦（奈良先端科学技術大学院大学）、荒川 豊（奈良先端科学技術大学院大学/JSTさきがけ）、安本 慶一（奈良先端科学技術大学院大学）
D-05 ◎	マイクロブログにおけるユーザの感情をアバタで表現するコミュニケーション促進システムの提案	◎梅本 美月、吉野 孝（和歌山大学）
D-06 ◎ †	隠蔽型防災情報提示システムにおける質問式記憶促進機能の開発	◎志垣 沙灯子、榎田 宗文、吉野 孝（和歌山大学）
昼 休 憩（11:30～13:00）		
13:00～14:00 ◆ 行動変容と社会システム2 <座長：水本 旭洋（奈良先端科学技術大学院大学）>		
D-07 ◎ †	ビーコン情報のマルチホップによる歩行者の位置精度向上	◎岩見 泰周、佐藤 健哉（同志社大学）
D-08 ◎	スマートホームにおける先行行動の継続時間分類に基づく行動予測手法の検討	◎佐々木 渉、藤本 まなと、荒川 豊、安本 慶一（奈良先端科学技術大学院大学）
D-09 ◎	加速度センサ無線タグによるリアルタイムでのマルチコンテキスト認識システムの検討	◎★高城 賢大、高橋 雄太、藤本 まなと（奈良先端科学技術大学院大学）、荒川 豊（奈良先端科学技術大学院大学/JSTさきがけ）、安本 慶一（奈良先端科学技術大学院大学）
D-10 ◎ †	講演中の聴衆の聴講態度に応じて移動する音響AR型足音TAIジェントの検証	◎★北岸 佑樹、米澤 朋子（関西大学）
一般6セッション（14:00～14:30） & 休 憩（14:30～14:45）		
14:45～15:45 ◆ 行動変容と社会システム特別講演 <座長：安本 慶一（奈良先端科学技術大学院大学）>		
「臨床心理学に基づく行動変容アプローチ」		
松浦 隆信（鹿児島大学）		

E：プログラミングおよび情報教育 会場：2F 講義室201

講演番号	発表題目	著者
13:00～14:30 ◆ プログラミングおよび情報教育 <座長：吉田 典弘（関西学院大学）>		
E-01 ∞	MRを用いた技術継承支援システム	山津 彰大、◎佐々見 和也、坂口 真琴、東野 利貴、曾我 真人（和歌山大学）
E-02 ◎ †	ヒューマンピクトグラムアンブラドにおける模倣学習を促す動画制作に関する一考察	◎★御家 雄一（青山学院大学）、米田 貴（神戸大附属中等教育学校）、伊藤 一成（青山学院大学）
E-03	全天周カメラを用いたVRコンテンツの制作教育	◎矢野 浩二郎（大阪工業大学）
E-04	一般情報教育における協調学習の効果	◎宮本 友介（大阪大学）、中西 通雄、安留 誠吾（大阪工業大学）
E-05	教科「情報」におけるCBTのための問題作成支援機能の実現	◎松浦 敏雄、清水 素彦（大阪市立大学）、香西 省治（データアクセス株式会社）、萩原 兼一（大阪大学）
E-06 †	「情報処理学会論文誌：教育とコンピュータ」の現状と展望	◎中山 泰一（電気通信大学）、坂東 宏和（獨協医科大学）、鈴木 貢（島根大学）

※◎は学生優秀発表賞・支部大会奨励賞対象発表、∞はジュニア会員特別賞対象発表、†は推薦論文対象発表、○は登壇者、★はキャリアエクスプローラー

G：一般1（言語処理・情報検索）、4（センサ・デバイス） 会場：3F 講義室302

講演番号	発表題目	著者
10:00～11:15 ◆ 一般1（言語処理・情報検索） <座長：村川 猛彦（和歌山大学）>		
G-01 ◎ +	ソーシャルトレーディングサービスにおけるトレーダの専門性分析	○竹田 創、Chenyi Zhuang、馬 強（京都大学）
G-03 ◎ +	音声入力チャットの話題解析による情報検索効率化と内容可視化の研究	○山中 勇矢（京都情報大学院大学）
G-04 †	経験の分散表現による意味類似性判定と経験価値を提供する地物検索	○松村 優也（京都大学）、大島 裕明（兵庫県立大学）、田中 克己、吉川 正俊（京都大学）
G-05 ◎ +	口コミサイトにおける投稿画像を利用したユーザのコスメアイテム選別支援	○長濱 卓範（関西学院大学）、牛尼 剛聡（九州大学）、角谷 和俊（関西学院大学）
G-06 †	通時的な言語空間を用いた学術論文解析	○中村 雄太、浅野 泰仁、吉川 正俊（京都大学）
昼 休 憩（11:15～13:00） & グリーンコンピューティング・組込みシステム（13:00～14:00）		
14:00～14:30 ◆ 一般4（センサ・デバイス） <座長：平田 博章（京都工芸繊維大学）>		
G-19 ◎	DTNと自律移動ロボットを用いた環境情報収集システムの提案	○田端 央、谷口 義明、井口 信和（近畿大学）
G-20 ∞	加速度センサを用いた直線移動距離測定精度向上方式の提案	○磯田 健斗、勝間 亮（大阪府立大学）

G：一般2（機械学習・医療情報）、一般5（マルチメディア1） 会場：3F 講義室303

講演番号	発表題目	著者
10:00～11:30 ◆ 一般2（機械学習・医療情報） <座長：満田 成紀（和歌山大学）>		
G-07	オートエンコーダの進化的学習における遺伝的アルゴリズムと進化戦略の比較	○岡田 英彦（京都産業大学）
G-08 ◎	ゲノム解析初心者のための支援アプリケーションの提案	○佐々木 郁人、大沢 勇統（近畿大学）、高橋 篤（国立循環器病センター）、大星 直樹（近畿大学）
G-09 ∞	SeqGANを用いた一般人に好まれやすい俳句の生成	○小西 文昂、廣田 敦士、松尾 星吾、家原 瞭、小原 宗一郎、加賀 ゆうた、鶴田 稜士、脇上 幸洋、金尻 良介、深田 智、田中 一晶、岡 夏樹（京都工芸繊維大学）
G-10 ◎	ゲノムマッピング高速化手法の提案	○松井 大樹、大沢 勇統（近畿大学）、高橋 篤（国立循環器病センター）、大星 直樹（近畿大学）
G-11 †	A class boundary selection criterion for classification	○David Ha（Doshisha University）、Juliette Maes（Ecole Centrale de Lille）、Yuya Tomotoshi（Doshisha University）、Charles Melle（Ecole Centrale de Marseille）、Hideyuki Watanabe（ATR）、Shigeru Katagiri、Miho Ohsaki（Doshisha University）
G-12 ◎	循環器OCT画像における血管内の脂質性プラークの検出	○★小南 貴也、呉 海元、久保 隆史（和歌山大学）
昼 休 憩（11:30～13:00）		
13:00～14:30 ◆ 一般5（マルチメディア1） <座長：馬 強（京都大学）>		
G-21	濡れた頭髮の対話的なアニメーション生成	○★西濱 高志、床井 浩平（和歌山大学）
G-22	紙カルテに印刷された身体部位図の認識	○佐々木 捷人、大崎 美穂（同志社大学）、川中 普晴（三重大学）、片桐 滋（同志社大学）
G-23	線形変換された余弦分布を用いた効率的な相互反射計算	○岡田 航輔、岩崎 慶（和歌山大学）
G-24	SoundPond：音を可視化し直感的に操作できる環境の提案	○村田 直紀、外村 佳伸（龍谷大学）
G-25	Soundorama：音風景のインタラクティブ体験システムの提案	○大野 夏樹、外村 佳伸（龍谷大学）
G-26	毛のリアルタイム表現に関する研究	○村上 哲也、床井 浩平（和歌山大学）

G : 一般6 (防災情報) & 英語チュートリアル 会場 : 3F 講義室304

講演番号	発表題目	著者
14:00~14:30 ◆ 一般6 (防災情報) <座長 : 水本 旭洋 (奈良先端科学技術大学院大学) >		
G-27 ◎ +	まち歩き型防災マップづくり支援システムの利用による防災意識への影響	○榎田 宗丈 (和歌山大学)、福島 拓 (大阪工業大学)、吉野 孝、杉本 賢二、江種 伸之 (和歌山大学)
G-28 ◎ +	VRを用いた被災体験とその対策を繰り返すことによる防災教育システムの提案	○中本 涼菜、谷岡 遼太、吉野 孝 (和歌山大学)
休憩 (14:30~14:45) & 行動変容と社会システム特別講演 (14:45~15:45) & 休憩 (15:45~16:00)		
16:00~17:00 ◆ 英語チュートリアル <座長 : 國枝 義敏 (立命館大学) >		
Writing and Presenting in the International Sphere: You need more than just 'translation' Ron Read (Human Global Communications Co., Ltd.)		

G : 一般3 (アルゴリズム)、一般7 (マルチメディア2) 会場 : 4F 講義室404

講演番号	発表題目	著者
10:00~11:30 ◆ 一般3 (アルゴリズム) <座長 : 平田 博章 (京都工芸繊維大学) >		
G-13	リンクの追加・削除が連続的に生じる動的ネットワークにおけるGrundyノード彩色アルゴリズム	○井本 宗一郎、増澤 利光、角川 裕次 (大阪大学)
G-14 †	単方向リングにおいて部分集合問題を解決する匿名エージェント乱択アルゴリズム	○河田 倫和 (大阪大学)、柴田 将弘 (九州工業大学)、首藤 裕一 (大阪大学)、大下 福仁 (奈良先端科学技術大学院大学)、角川 裕次、増澤 利光 (大阪大学)
G-15 ◎	勢力圏分割を用いた高速な探索の簡略化	○★辻野 弘章、今井 敏行 (和歌山大学)
G-16 ◎ +	アクセスパターンを利用した同一節点へのグラフ走査回数の削減法	○楠 和馬 (同志社大学)、久米 出 (奈良先端科学技術大学院大学)、波多野 賢治 (同志社大学)
G-17 †	通信効率のよい全域木構成自己安定アルゴリズムのトポロジ変化に対する出力安定性の実現	○北口 峻行、角川 裕次、増澤 利光 (大阪大学)
G-18	3次元凸包を用いた簡易なDelaunay図構成と高速化	○岩本 龍馬、今井 敏行 (和歌山大学)
昼 休憩 (11:30~13:00)		
13:00~14:30 ◆ 一般7 (マルチメディア2) <座長 : 塚田 晃司 (和歌山大学) >		
G-29 †	A synchronous self-stabilizing algorithm for the minimal generalized domination in arbitrary networks	○Hisaki Kobayashi, Hirotsugu Kakugawa, Toshimitsu Masuzawa (Osaka University)
G-30 ◎ +	Linux版t-Roomにおける実システム環境を用いた動作確認	○福岡 篤志、和田 理、片桐 滋、大崎 美穂 (同志社大学)
G-31	キャラクターの性格推定	○津崎 誠也、山本 博史 (近畿大学)
G-32 ◎ +	モニタリングの使用目的に応じたカバー率評価関数の検討	○坂元 勇介、勝間 亮 (大阪府立大学)
G-33 ◎ +	斜め遠方から読み取りやすい錯視マーカの提案	○堀江 大輔、勝間亮 (大阪府立大学)
G-34 ◎	プレイヤーの対話意欲を維持する主導切り替え学習型NPCの構築	○★高橋 ともみ、田中 一晶、早川 博章、岡 夏樹 (京都工芸繊維大学)

G : 一般8 (ネットワーク) 会場 : 4F 講義室406

講演番号	発表題目	著者
13:45~14:30 ◆ 一般8 (ネットワーク) <座長 : 大谷 雅之 (近畿大学) >		
G-35 ◎	コマンド入力のダブルチェックを可能とするネットワーク機器設定補助システムの提案	○長谷川 太一、井口信和 (近畿大学)
G-36 †	Move-efficient fault-tolerant simulation of message-passing algorithms	○Tsuyoshi Gotoh (Osaka University)、Fukuhiro Ooshita (Nara Institute of Science and Technology)、Hirotsugu Kakugawa、Toshimitsu Masuzawa (Osaka University)
G-37	クラウドプラットフォームにおけるジョブスケジューリングの改善	○萬代 光治、川原 純、笠原 正治 (奈良先端科学技術大学院大学)

ポスター発表 会場：3F 講義室301

講演番号	発表題目	著者
11:30~12:45		
◆ テーマ複合 (B：社会知能、D：行動変容と社会システム、E：プログラミングおよび情報教育、G：一般)		
B-101	時系列データにおけるポラリティ推定について	○谷山 徹 (関西学院大学)
B-102 ◎ †	人間-ロボットの生理現象を介した共同体験における積極性と親密性	○★吉田 直人、米澤 朋子 (関西大学)
B-103 ◎ †	ロボットハンド型寄り添いエージェントのための「握る」接触表現と感情伝達に関する検討	○★孟 曉順、吉田 直人、米澤 朋子 (関西大学)
B-104 ∞	事象関連脱同期を用いたブレインマシンインターフェースの提案	○原 崇輔、曾我 真人 (和歌山大学)
B-105	Angry Birdsにおけるドミノステージの難易度調整	○石井 稜大、将 雨軒、ターウォンマツ ラック、原田 智広 (立命館大学)
D-101 †	ノンパラメトリック混合隠れマルコフモデルの日常生活行動分類への応用	○菅野 隼、松重 龍之介、岡留 剛 (関西学院大学)
D-102 ◎ †	画像エフェクトとAR図示によるランダム指さしの指示理解の検証	○★上野 楓、米澤 朋子 (関西大学)
D-103 ◎	カメレオン効果を用いたインタラクションにおけるロボットの最適模倣率の検証	○米田 貴行、小原 宗一郎、西口 たまき、小寺 祥平、有本 翼、篠原 由美子、久保 克弘、吉崎 美紗、田中 一晶、西崎 友規子、岡 夏樹 (京都工芸繊維大学)
E-101 ◎	UMLエディタからのコード生成によるロボット制御実習	○柴田 敦也 (奈良先端科学技術大学院大学)、武苗 棟之 (立命館大学)、神原 弘之 (京都高度技術研究所)
G-101 ◎	好みに合わせた俳句生成のためのニューラル確率的言語モデルの学習手法の検討	○加賀 ゆうた、家原 瞭、廣田 敦士、金尻 良介、脇上 幸洋、小西 文昂、松尾 星吾、深田 智、田中 一晶、岡 夏樹 (京都工芸繊維大学)
G-102	肝臓手術サポートシステムにおけるメス先端位置精度の検証	○矢野 大貴、土井 万由子、小枝 正直、奥本 昂大、吉田 将悟、大西 克彦、登尾 啓史、渡邊 郁 (大阪電気通信大学)
G-103 ◎ †	話題の新鮮度を考慮したマイクロブログ推薦手法の提案	○★横山 慎、馬 強 (京都大学)
G-104 ◎	職業を意識した学習意欲の促進に向けた標準カリキュラムと求人情報の関連付け	○★戴 憶菱、浅野 泰仁、吉川 正俊 (京都大学)
G-105 ◎	基準例を用いた主観評価からのバイアス軽減に向けて	○大橋 英明、清水 敏之、吉川 正俊 (京都大学)
G-106	脚部X線画像を用いた足首人工関節部位の位置姿勢推定 - 粗密探索による高速化 -	○安藤 亮平、小枝 正直 (大阪電気通信大学)
G-107 ◎	複数枚の空撮画像結合における歪み抑制手法の提案と評価	○増田 祐至、小枝 正直 (大阪電気通信大学)
G-108	足裏圧力勾配に基づくヒューマノイドロボットの摺足移動	○★鎌田 崇史、杉本 大樹、小枝 正直 (大阪電気通信大学)
G-110	CNNベースのカラー化手法の検証とその改善法の提案	○新家 歩、森 和貴、原田 智広、ターウォンマツ ラック (立命館大学)